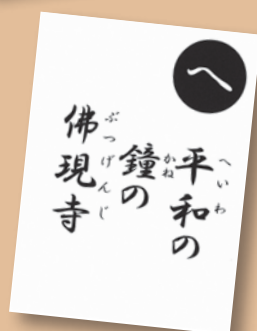


市議会だより

表題は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。

「伊東かるた」とめぐる

“伊東の魅力”再発見



佛現寺

十七世紀に造られた鐘は、戦争時に供出されたが戦後再鋳されました。鐘には平和を願う短歌と句が彫りこまれています。(伊東八景)

「伊東かるた解説書より」

※伊東の自然・歴史・文化を題材にした「伊東かるた（第二版）」（伊東かるたの会制作）の中から「伊東の魅力再発見」をテーマに、編集委員が選んだお気に入りの札を写真とともにご紹介します。

主な内容

- 9月定例会の概要……………【P. 2】
- 決算大綱質疑（7議員が質疑）…【P. 5】
- 一般質問（12議員が登壇）……………【P. 7】
- 常任委員会だより……………【P. 11】
- 議会改革特別委員会……………【P. 12】



令和6年9月定例会

令和5年度 一般会計・特別会計・企業会計決算を含む 36件の議案等を審議、決定

9月定例会を8月28日から9月27日までの31日間の会期で開会しました。

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市報第4号	令和5年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定に基づく健全化判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）及び公営企業会計の資金不足比率の報告	市長	報告・質疑のみ
市議第8号	令和6年4月1日以降における遺族扶助料の年額の改定に関する条例	恩給法による恩給改定率の改定等に関する政令及び恩給法等の一部を改正する法律の年金たる給付等を定める政令の一部を改正する政令の施行に伴い、伊東市職員退職等による給与金支給条例に基づき給付する遺族扶助料について、令和6年4月1日以降の給付額を定めるため、新たに条例を制定するもの	市長	全会一致で可決
市議第9号 👉 討論	伊東市税賦課徴収条例の一部を改正する条例	温泉資源の保護及び活用並びにさらなる観光振興施策に取り組むための財源とするため、宿泊に係る入湯税を現行の150円から300円に引き上げるとともに、免税対象者を拡大するための規定を整備するもの	市長	賛成多数で可決
市議第10号 👉 討論	伊東市国民健康保険条例の一部を改正する条例	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の施行により、被保険者証が廃止されることに伴い、国民健康保険法における被保険者証の返還に応じない者に対する過料の規定が削除されることから、本条例における被保険者証の返還に応じない者に対する罰則規定を削除する等の改正	市長	全会一致で可決
市議第11号 } 市議第21号	住民票の写し等の交付に関する事務の委託の廃止に係る協議について	駿豆地区8市4町で実施している、住民票の写し等の交付に係る相互事務委託事業について、マイナンバーカードの普及や戸籍システムのネットワーク化等により相互事務委託の必要性がなくなってきたこと等から、委託廃止の協議について議決を求めるもの	市長	賛成多数で可決
市議第22号	静岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の施行により、被保険者証が廃止されることに伴い、静岡県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更することについて、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるもの	市長	全会一致で可決
市議第23号	令和5年度伊東市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	令和5年度伊東市下水道事業会計未処分利益剰余金1億3,842万1,477円のうち、5,724万6,612円を減債積立金へ積み立て、残りの8,117万4,865円を資本金へ組み入れることについて、地方公営企業法の規定により、議会の議決を求めるもの	市長	全会一致で可決
市議第24号 👉 討論	令和6年度伊東市一般会計補正予算（第3号）	予防接種事業における新型コロナウイルスワクチン定期接種化に伴う経費の追加をはじめとする各種事業経費の追加及び令和5年度事業費確定に伴う国県支出返還金等の追加並びに基金への積立てなど、9億4,124万6,000円の追加	市長	賛成多数で可決
市議第25号	令和6年度伊東市競輪事業特別会計補正予算（第1号）	選手賞金や出場手当の増額をはじめ、開催運営委託におけるインセンティブ増に伴う委託料の増額のほか、地方公共団体金融機構納付金の増額など8億3,500万円の追加	市長	全会一致で可決
市議第26号	令和6年度伊東市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	令和6年12月2日から被保険者証が廃止されることにより、資格確認書の交付を開始するためのシステム改修経費など793万2,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第27号	令和6年度伊東市下水道事業会計補正予算（第1号）	中継ポンプ場、湯川終末処理場、荻・十足処理区マンホールポンプ、かわせみ浄化センターの4施設における、令和7年度から令和9年度及び令和10年6月までの施設維持管理業務を委託するに当たり、今年度中に業者選定を行うための債務負担行為の追加	市長	全会一致で可決
市認第5号 } 市認第14号 👉 討論	令和5年度伊東市一般会計歳入歳出決算、特別会計歳入歳出決算6件、企業会計決算3件	地方自治法第96条第1項第3号に基づく各会計の令和5年度歳入歳出決算の認定	市長	3ページの表をご覧ください
市選第1号	教育委員会委員任命の同意について	秋山佳輝氏（新任）	市長	全会一致で任命に同意

市 議 会 だ よ り

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市選第2号	監査委員選任の同意について	鈴木將敬氏（新任）	市長	全会一致で選任に同意
市諮第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	米澤義正氏（新任）	市長	全会一致で推薦に同意
発議第2号	予算・決算特別委員会設置について	一般会計に係る予算及び決算議案の一体的な審査を目的とした特別委員会の設置	議員9名*	全会一致で可決
発議第3号	地震財特法の延長に関する意見書	内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、国土交通大臣、内閣府特命担当大臣（防災）、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員9名*	全会一致で可決

※各会派代表者及び会派に所属していない議員全員

市長による決算概要説明（要旨）

予算編成の背景

令和五年度一般会計当初予算は、「新しい伊東スタイルへの挑戦」を市長経営方針に位置づけ、公約に掲げた「未来を拓く取組」の三本柱である「みんながつくる伊東市」、「みんなが暮らす伊東市」、「みんなが暮らす伊東市」に係る事業の一層の進展及び国際観光温泉文化都市としての発展と安全・安心な市民生活の両立を目指した編成とした。

一般会計決算概要

一般会計歳入決算額は対前年度比五・八％の増、歳出決算額は四・五％の増となり、歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は、前年度を二一・八％上回る一〇億五二九二万四〇〇円であった。

歳入決算では、自主財源において、市税、ふるさと

伊東応援寄附金及び競輪事業収入の増加等により、対前年度比一三・六％増加となったが、依存財源において、国庫支出金の減少などから、対前年度比一・二％の減となり、歳入全体では五・八％の増加となった。歳出決算では、経常経費において、物件費が対前年度比一・五％、補助費が三・一％減少したが、維持補修費が六・七％、価格高騰重点支援給付金給付事業等により扶助費が九・九％増加した。投資的経費については、普通建設事業において、介護サービス提供体制整備促進事業や緊急輸送ルート沿道建築物耐震化助成事業などを実施したものの、放課後児童クラブ建設事業や新図書館設計事業などが完了したことから、対前年度比で二・一％減少した。

令和5年度 一般会計・特別会計・企業会計決算

◎全会一致で認定 ○賛成多数で認定

一般会計決算

歳入	歳出	審議結果
330億9,174万円	315億2,537万円	○

特別会計決算

会計	歳入	歳出	審議結果
競輪事業	345億4,657万円	336億9,592万円	◎
国民健康保険事業	84億8,233万円	83億7,003万円	◎
土地取得	3,941万円	3,930万円	◎
霊園事業	3,285万円	3,257万円	◎
介護保険事業	93億 844万円	91億6,156万円	◎
後期高齢者医療	24億2,313万円	23億9,388万円	◎
合計	548億3,273万円	536億9,327万円	◎

※計数は、それぞれ1万円未満を四捨五入しているため、合計と内訳は一致しない。

公営企業会計決算

区分	収入	支出	審議結果
病院事業	収益的収支 4億2,334万円 資本的収支 1億 330万円	3億5,705万円 1億6,420万円	○
下水道事業	収益的収支 16億4,944万円 資本的収支 6億4,770万円	15億9,308万円 11億4,920万円	◎
水道事業	収益的収支 16億 470万円 資本的収支 3億5,954万円	15億6,934万円 10億3,474万円	◎

本市の財政状況

本市の財政は、これまで継続的に実施してきた様々な改革への取組により、適正とされる規模の黒字を確保するとともに、競輪事業収益金活用基金や文化施設整備基金への積立てなど、将来を見据えた財源の確保が図られていることなどから、健全化判断比率や経常収支比率、実質収支比率などの財政指標も含め、その健全性は維持できていると判断している。

これまで「有言実行!! みんなとともに」を基本理念に、「伊東の魅力発信」、文化を高め、観光の振興と産業の育成によって、みんなが夢を形にできる未来を拓く「施策の推進に邁進してきた。これからも市民の皆様をはじめ、本市に関わりのある全ての方々と知恵を出し合い、全員参加で未来を見据えた新しい伊東スタイルの構築に向け、市民のため、本市の発展に努めていく。

本会議で行われた討論の概要

※登壇順に掲載しています。会派構成は二ページをご覧ください。

市議第九号

《反対》田久保眞紀議員

温泉資源の保護及び活用、さらなる観光振興の財源として入湯税の税率を引き上げる趣旨は理解できるが、維持管理に大きな課題がある財産区所有の町なかの温泉施設や源泉が保護対象にならないことは政策目的として問題がある。法的に可能な方法があることを踏まえ踏み込んだ検討が不可欠であることから反対する。

《賛成》自由民主伊東

入湯税増収に伴う使途として、温泉の保護、観光地域づくり、観光スタイルの形成が挙げられるが、温泉の湧出量の確保や保全には、市内の旅館やホテルの宿泊施設をはじめ、地域の公衆浴場など民間の維持管理の抱える諸問題に寄り添う支援を進めるための資金に充てることは重要であると考えることから賛成する。

《賛成》政和会

本市の入湯税収は、専ら観光事業に充当されているが、入湯税の課税根拠は、入湯客数の増加による行政需要の増大に対応するため、の財源確保である。さらに、超過課税分も観光に充当するならば、入湯税の制度趣旨を逸脱するものとなりかねない。本来の制度趣旨に従った財源配分には是正すべきことを指摘し、賛成する。

《賛成》伊東未来

目的税である入湯税を三億円規模で増やすことは、本市発展の大きなプラスになることは言うまでもない。また、観光客等からいまだく入湯税の引上げは、伊東市民にとって負担はない。そのような税収が観光や消防、下水道・温泉設備に使われ、市民生活の下支えや活性化ができる本議案に賛成する。

市議第一〇号

《賛成》重岡秀子議員

この条例改正は紙の保険証の廃止に伴い滞納に関わる保険証の返還規定が削除されるものである。現行の短期保険証の廃止が心配されたが、来年一月末までは有効であり、納税相談も継続されることになる。窓口負担が急に一〇割になるような混乱がないよう、滞納への柔軟な対応と十分な周知を要望し賛成とする。

市議第二四号

《反対》犬飼こり議員

どのような経緯・協議を経てその事業を行うのか、不明瞭なものに賛成するわけにはいかない。市民の暮らしが回復していない中、先の見えないことを進めていいのか。まず市民が居心地のいい街に。市民に心から寄り添い、市民の生の声が届く市政に。国に振り回されず、地方行政は住民のために行っていただきたい。

市認第二二号

《反対》重岡秀子議員

医師、看護師等のスタッフ不足もあり四階北病棟がほぼ稼働していない事態となっており、経営状態も危惧される。特に常勤医の不足は救急医療への影響も懸念されるが、議会には病院経営の収支が公開されず運営実態もつかめない状況にある。これは指定管理者制度とはいえ重大な問題だと考え、認定には反対する。

市認第五号

《反対》重岡秀子議員

まちづくり全体の発展として中心市街地の活性化は急務であるが、魅力ある店舗づくりや駅前広場の整備と合わせた取組が弱いなど、産業振興はいま一歩である。また競輪収益を九億円も文化施設設置基金に積めるなら、物価高騰の中で給食無償化は継続すべきだったと考える。以上の点で決算の認定には反対する。

《賛成》公明党

市長が掲げる「伊東の魅力を発信し、文化を高め、観光の振興と産業の育成によって、みんなが夢を形にできる未来を拓く」施策の推進に邁進された決算であったと評価するとともに、今後引き続き市民の声に真摯に耳を傾け、伊東市民の幸福度向上の構築をお願いして、本決算に認定すべしとの賛成討論とする。

《反対》政和会

本市の重要施策である観光商工関連の委託事業において、参加者から徴収された「I T O M A R C H E」の出店料等、市の一般会計歳入に計上されるべき収入が、どこにも計上されておらず、地方自治法第二一〇条で規定する総計予算主義の原則等に抵触する可能性がある以上、決算を認定することはできない。

《賛成》正風クラブ

新図書館建設事業については、当初設計の入札結果

は不調であったが、市民向けの意見交換説明会、不調に伴う国費補助の調整及び再設計に向けてのアンケート実施等、夢と未来を育む図書館誕生に向けての道のりは険しいものの、手順プロセスは確かであることから令和五年度伊東市一般会計歳入歳出決算を認定する。

《反対》犬飼このり議員

決算は数字の羅列で終わるものではない。事業の進め方・お金の使い方が適正であったかが大事。しっかりと精査しているのか。委託事業での収入が決算書に記されておらず裏金状態。記載漏れ、裏金を認めているのか。補助金や負担金についても見直す時期で、ばらまきではなく事業そのものを成長させていくべき。

《賛成》伊東未来

今後の伊東市における政策の優先課題は危機管理であると考え、体育館の空調設備の設置事業の実施は喫緊の課題である。また、

教育分野においては、子供たちの成長への投資として、ぜひとも小・中学校の給食の無償化を実現するよう強く訴えさせていただき、令和五年度決算について認定する。

《賛成》田久保眞紀議員

新図書館建設が入札不調に終わったことは決算認定に大きな問題を残すが、建設事業者にヒアリングを行うなど事業継続に必要な対策を施したという説明があり、内容に不安はあるが引き続き再入札の進捗を見極めたい。対して全体では財政の硬直化や将来負担比率の数値に大きく改善が見られ、これを評価し認定する。



決算大綱質疑



動画はこちら

会派及び会派に所属していない議員から7議員が質疑しました

～決算概要説明及び各会計決算に係る議案について～

(文書の掲載量は、会派の人数に応じており、登壇順に掲載しています。会派構成は11ページをご覧ください。)



自由民主 伊東
(井戸清司議員)

財政力指数が年々低下している要因の分析と向上させるための取組について伺う

市長

基準財政収入額の減少及び基準財政需要額の増加が主な要因であり、財政力指数の改善は難しい

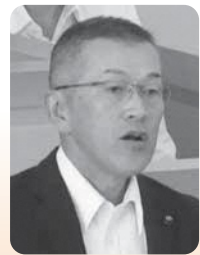
本市の財政力指数の低下は、景気の低迷や地価の下落による市税収入の減額を主な要因とする基準財政収入額の減少や、社会保障経費の増嵩等の基準財政需要額の増加によるものであり、普通交付税は年々増加している。財政力指数の改善には、基準財政収入額のうち、税収増を図る必要があるが、今後の税収についても大幅な増収は見込めないことから、基準財政需要額が増加する中、財政力指数の改善

ポストコロナ時代における様々な課題解決のため、次年度予算編成に向けた市長の方針を伺う

市長

今後の財政需要の増加への対応を見据えた予算編成方針について検討している

令和七年度予算編成について、社会保障経費のさらなる増嵩が見込まれる等、子育て、教育施策の充実に加え、これまで以上に高齢者施策が重要となる。市税の増収やふるさと伊東応援寄附金、競輪事業収益金の増収を図ることが必要であり、令和七年度市長経営方針とした「輝く伊東の未来を創る」改革、そして躍進へ」の実現に加え、今後の財政需要の増加への対応を見据えた予算編成方針について、現在検討している。『その他の質疑』二〇項目



正風クラブ
(佐藤周議員)

市立幼稚園給食事業及び放課後児童クラブに関する事業の評価について伺う

市長

保護者の負担軽減と園児の食育推進及び保育環境の向上につながったと考える

市立幼稚園給食事業については、令和五年二学期から、八幡野小学校調理場で調理した給食の八幡野幼稚園への配送を開始し、安全・安心でおいしい給食を提供し、市長公約の幼稚園給食の目的である保護者の負担軽減と園児の食育推進につながっていると考える。

放課後児童クラブについては、伊東小学校の開校に当たり、新たな学童クラブを創設、社会福祉法人による運営に移行するとともに、大池小学校においても社会

福祉法人による運営に移行したことで、運営面での保護者負担の解消や安心して利用することができるようだけでなく、法人の経営ノウハウ等によりクラブの安定運営や支援員の育成体制が強化され、保育環境の向上につながっていると考える。

新図書館建設事業の評価について伺う

市長

再設計業務に着実かつ全力で取り組む

入札不調となつて以降、市場分析を続け、再入札への活路を模索したが、令和五年一月に全体規模を縮小するための再設計へかじを切る旨を発表した。縮小に向け維持したい機能を同アンケートには千件を超える回答があり、新図書館への期待の表れとしてその必要性を改めて確信し、再設計業務に着実かつ全力で取り組むたいと考える。

『その他の質疑』一六項目



公明党
しのはらみねこ
(篠原峰子議員)

市立幼稚園給食事業及び市立幼稚園デリバリー給食事業の実績及び評価を伺う

市長

保護者の負担軽減と園児の食育推進につながっているものと考えている

市立幼稚園給食事業については、令和五年二学期から、八幡野小学校の調理場で調理した給食を、週五回八幡野幼稚園に配送しているが、幼稚園給食の目的である、保護者の負担軽減と園児の食育推進につながっているものと考えている。

デリバリー給食については、物価高騰に直面する子育て世代の経済的負担の軽減を図るため、令和四年度は全年齢を無償とし、令和五年度からは、三・四歳児の給食費を徴収し実施して

いる。

令和五年度の八幡野幼稚園を除いた公立幼稚園の五歳児は七三人で、このうちの七一人がデリバリー給食を利用してのことからも、保護者の意向に沿った運用ができており、八幡野幼稚園給食と同様、保護者の負担軽減と園児の食育推進につながっているものと考えている。

『その他の質疑』一〇項目



政和会
すぎもとかずや
(杉本憲也議員)

決算概要説明において適正とされる規模の黒字を確保したと評価した根拠を伺う

市長

他市の状況を踏まえ、本市の実質収支比率は適正な範囲内であると評価している

一般的に適正とされる黒字規模は、実質収支比率が

三％から五％程度が望ましいと考えられているが、本市の令和五年度実質収支比率は六・三％となる。

この数値は適正な範囲内とされる三％から五％よりも大きい数値となっているが、県内の政令市を除く二一市における令和四年度実質収支比率の平均値は一〇・一％であることから、本市の数値は、適正な範囲内であると評価している。

『その他の質疑』二項目



たくほまき
田久保眞紀議員
(会派に所属していない)

新図書館建設事業の入札不調の要因をどのように捉え、どのような対策等が必要であると考えたか伺う

市長

積算した設計価格と実勢価格に乖離が生じたことが主な要因と考える。従来計画から施工床面積の二割程

度の縮減を上限としたリサイズを図ることとした。
『その他の質疑』 一項目



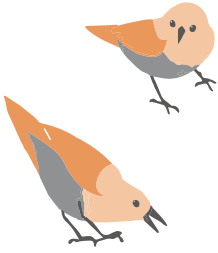
いぬかい
犬飼このり議員
(会派に所属していない)

YUKATAにぎわい演出事業の利用実績及び内訳を伺う

市長

令和五年度の利用実績は、女性二一〇人、男性七八人、子供一九人の計三〇七人で、前年度と比べると二四人の増加となり、内訳は、市民利用者七三人、市外利用者二三四人で、市外利用者では関東圏が多い傾向である。

『その他の質疑』 三項目



しげおかひでこ
重岡秀子議員
(会派に所属していない)

空家等対策相談会の実績及び今後の課題について伺う

市長

県主催として、令和五年一二月に相談会を開催し、五件の相談があった。

今後の課題として、相談会の継続した開催の必要性を感じており、また、相談件数増加の際は、市独自の開催も検討していく。

『その他の質疑』 二項目

ことばの解説

決算大綱質疑

九月定例会において行われる決算概要説明及び決算に係る議案に対する質疑。質疑時間は、議員一人につき二〇分を基本とし、会派及び会派に所属していない議員により実施する。

一 般 質 問



動画はこちら

12議員が登壇し、市政全般について質問しました

(登壇順に掲載しています。)



むしあきひろ お
虫明弘雄議員
(自由民主 伊東)

市民が金融リテラシーを向上できる学びの場を提供することについて、本市の考えを伺う

お金に関する知識を深め、適切な判断をすることで、金融トラブルや詐欺などに巻き込まれることから身を守り、将来的に必要な資産を確保できるようにするため、市民が金融リテラシーを向上できる学びの場を提供することについて、本市の考えを伺う。

市長

よりよい生活を送るための情報を市民大学講座等を通じて提供することにより、市民の金融リテラシーの向上に努める

近年、SNS上での詐欺の手口が多様化するとともに、電子マネー等のデジタ

ル通貨も普及する中、金融リテラシーの必要性が高まっている。

そのため、社会人として経済の知識を高める必要があるものの、金融や経済を取り巻く状況は、大きく変化し、その速度も早まりつつあることから、その変化に対応し、よりよい生活を送るための情報を市民大学講座等を通じて提供することにより、市民の金融リテラシーの向上に努める。

『その他の質疑』 六項目



すずきあやこ
鈴木絢子議員
(正風クラブ)

児童館がない地域を中心に、移動児童館等の取組の導入について伺う

児童館がない地域を中心に、児童厚生員が公民館等におもちゃや遊び道具を持って児童館を開設する移動児童館について、本市に

においても同様の取組を導入する考えはないか伺う。

市長

移動児童館を含め、様々な手法を活用し、同様の取組の導入について検討する

児童館は、児童福祉法に定められた児童福祉施設の一つである児童厚生施設に該当し、児童厚生員を配置し、児童に健全な遊びを与えその健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした施設であるが、新たな児童館の設置については、市内に偏りなく設置することが望ましいと考えるものの建設用地や財源の確保等の問題があり、早急な対応は困難であると考えている。

議員提案の移動児童館については、一時的な遊び場不足の解消に有効な取組であると考えることから、今後、移動児童館を含め、様々な手法を活用することで、同様の取組ができないか検討する。

『その他の質問』 七項目



おおかわかつひろ
大川勝弘議員
(伊東未来)

小・中学校の体育館へのエアコン設置について、本市の考えを伺う

教育環境の向上を図る取組として、小・中学校の体育館へのエアコン設置について、本市の考えを伺う。

教育長

優先順位などを含めた計画的な設置について、調査・研究を進めていく

近年の猛暑等による温度上昇により、体育館での学習活動にも影響が出ていることは承知しており、体育館への空調機器の設置については、有効な対策の一つであるとして認識しているが、空調効率を高めるためには、空調機器の設置に加え、断熱材の設置など相当な関連工事が必要となり、このことと、文部科学省の補助要

件の一つとなっている。

昨今の猛暑などの状況から、館内温度が極めて高くなることもあり、授業や部活動などの学校活動のほか、災害時の避難所開設時においても、安全・安心に利用するためには、空調機器設置の必要があると認識していることから、優先順位などを含めた計画的な設置について、調査・研究を進めていく。

『その他の質問』 七項目



かわしま き み え
河島紀美恵議員
(自由民主 伊東)

ごみステーションへのスチール製ごみネットボックスの設置について考えを伺う

市内のごみステーションでは、燃えるごみの回収日は、カラス等によるごみの散乱被害を防ぐためにカラスよけネットがかけられているが、年々、被害は増加

傾向にあり、周辺や道路にごみが散乱し、悪臭や清掃の負担の増加のほか、通行に支障が出たり、景観を損ねる原因となっている。このため、スチール製ごみネットボックスの設置によりごみの散乱被害の軽減や市内の美化につながると考えるが、本市の考えを伺う。

市長

成功事例について周知し、設置に協力していきたい

スチール製ごみネットボックスは、蓋付きのものが多く、カラスや猫によるごみの散乱を防ぐ対策として大きな効果があるとともに、景観も向上するものと考えられる。ごみの散乱防止対策という地域課題解決のため、設置による成功事例について広報という等を通じて周知し、町内会等による設置を促すとともに、可能な限り設置に協力していきたいと考えている。

『その他の質問』 三項目



たけもとりき や
竹本力哉議員
(公明党)

小・中学校における給食費無償化について見解を伺う

小・中学校における給食費の無償化について、国の施策による無償化を待つことなく、早急に本市独自で実施すべきと考えるが、本市の見解を伺う。

市長

国や県の給食費無償化に対する支援を要望するとともに引き続き検討する

学校給食については、学校給食法に定める児童・生徒の健康のため安全・安心に提供できるよう努める中、現状の物価高騰下では、保護者に負担いただく給食費だけでは質を維持することが困難な状況にあり、賄材料費の一部を公費負担し対応している。給食費無償化を実施している自治体が、

実施する一番の理由として保護者の経済的負担の軽減を挙げる一方で、継続するための課題として財源の確保を挙げている。本市でも多くの意見等をいただく中で物価高騰も見据えた給食費の試算をしているが、恒久的に多額の財源が必要になることから、国や県の給食費無償化に対する支援を要望するとともに、本市の子育て支援の重要な施策として引き続き検討する。

『その他の質問』 九項目



むらかみしょうへい
村上祥平議員
(正風クラブ)

市が商店街組織や関係団体と協働し、商店街をマネジメントしてはいかかがか

商店街の活性化については組織的に取り組む必要があることから、市が商店街組織や関係団体と協働し、商店街をマネジメ

ントしてはいかかがか。

市長

新たな発想や手法についても取り入れるなど、商店街が持続・発展できる体制の構築について検討していく

商店街については、人口減少に伴う需要の縮小や大型店との競合、インターネット販売の普及等により、環境が厳しさを増していく中で、経営者の高齢化による後継者問題や店舗の老朽化、空き店舗の増加などの問題を抱えている状況であるものと認識している。

商店街のマネジメントについては、現状と課題を分析した上で、長期的視点から、商店街の目指す姿に基づいた活動が必要であると認識しており、商店街、市、商工会議所等の協働・連携のもと、新たな発想や手法についても取り入れること等により、商店街が持続・発展していくことのできる体制の構築について検討していく。

『その他の質問』 四項目



すざもとかずや
杉本憲也議員
(政和会)

行政オンブズマン制度導入に対する市長の考えを伺う

六月定例会の請願審査では、行政オンブズマン制度導入は既存制度の質の向上や見直しを行った上で検討すべしとなったが、既存制度は苦情処理の対策として十分対応できているとは言えず、市民サービス向上や職員の負担軽減等の観点からも同制度を導入すべきと考え、有用性と必要性及び導入への課題を踏まえた上で、市長の考えを伺う。

市長

制度の有用性と必要性及び導入への課題を比較考量し制度導入には至っていない

制度の有用性は一定程度あると認められるが、類似機能としての市議会等における行政監視機能及びタウ

ンミーティング等の広聴制度による行政改善機能や苦情処理機能が現在機能しており、制度導入により機能が重複し分かりにくい組織となることが懸念される。

また、行政オンブズマンの行政等からの独立性に関する課題や追加的な組織、人員及び予算も必要となり、制度の有用性と必要性及び導入に当たる課題を比較考量した結果、制度の導入には至っていない。

『その他の質問』 五項目



しのみやかずひこ
四宮和彦議員
(政和会)

商標権侵害が判明した経緯について伺う

第七八回按針祭において、八月八日に実施予定であったランタンを使用したイベントが急遽中止になったことに関し、商標権侵害が判明した経緯について伺う。

市ホームページにイベント情報掲載後、商標権関係者から指摘をいただいた

市長

令和六年五月八日に開催した第七八回按針祭執行委員会において、八月八日の松川灯籠流しに併せてランタンを使用したイベントを検討している旨を報告し、市のホームページに掲載した。その後、日本スカイランタン協会®を主催する株式会社エクスプラウド社から観光課に連絡があり、「スカイランタン®」は当該協会が商標登録しており、無断使用は商標権の侵害にあたり、イベントを開催することは認められない旨の指摘をいただいた。

この指摘を受け、直ちに特許庁のホームページにて「スカイランタン®」の商標登録を確認したところ、登録が確認されたため、無断使用していたことが判明した。

『その他の質問』 七項目



しげおかひこ
重岡秀子議員
(会派に所属していない)

伊東港・伊東港海岸整備基本構想策定業務について、対象の整備箇所、業務の目的及び概要について伺う

伊東港・伊東港海岸整備基本構想策定業務について、どこからどこまでの範囲が対象となるのか、基本構想の対象としている整備箇所を伺うとともに、業務の目的及び概要について伺う。

市長

白石地区から新井地区までの海岸のうち、オレンジビーチを除く範囲を対象としている

伊東港・伊東港海岸整備基本構想の対象とする整備箇所は、伊東港の白石地区から新井地区までの海岸のうち、オレンジビーチを除く範囲としている。業務の目的及び概要は、

海辺の良好な景観の形成、駐車場や憩いの場の不足、中心市街地との回遊性の確保等の課題に対応しつつ、「みなと」と「まち」が一体となった海辺の魅力のさらなる創出を図るため、エリアごとに求められる機能等の検討を行うことにより、整備の方向性を明確化し、実現可能な伊東港・伊東港海岸における整備の基本的な考え方及び全体構想案をまとめていくものである。

『その他の質問』 五項目



いぬかい
犬飼このり議員
(会派に所属していない)

マイナ保険証の登録状況とともに、資格確認書の周知状況を伺う

令和六年二月二日をもって健康保険証が廃止され、マイナ保険証へ移行するが、所持が義務でないマイナンバーカードに、原則

誰もが持つ健康保険資格を紐づけることとなることから、本市におけるマイナ保険証の登録状況を伺うとともに、マイナ保険証を持たない市民へ交付される資格確認書の周知状況を伺う。

市長

マイナ保険証の未登録者を含め、正しい情報発信に努めていく

本市の国民健康保険におけるマイナ保険証の登録率は、令和六年六月末現在で、六三・〇四％と、毎月増加しているものの一定数の方が登録されていないものと認識しており、また、利用率は一二・九八％である。マイナ保険証の未登録者へは資格確認書を交付予定であり、七月の新保険証発送時のチラシ同封や広報いとう、ホームページを活用して周知を図っている。

今後マイナ保険証の未登録者も含め、被保険者への正しい情報発信に努めていく。

『その他の質問』 六項目



たくぼまき
田久保真紀議員
(会派に所属していない)

貸別荘の騒音等の問題に関して、本市はどのように把握し、対応しているか伺う

運営事業者の管理が行き届かない貸別荘の利用者が、深夜に騒いだりしており、近隣住民が対応に苦慮していることから、住宅地内で営業している貸別荘の騒音等の問題に関して、本市はどのように把握し、対応しているか伺う。

市長

今できる取組を行うとともに、問題を根本的に解決するルール等の導入について調査研究する

騒音等の問題については、市民からの個別の相談やタウンミーティングなど、様々な形で把握している。しかし、騒音規制法では人の声は騒音として規定さ

れているため、規制は難しい状況であるが、伊東警察署長へ対応を強く要望したことにより、警察から貸別荘の運営事業者等へ指導したとの報告を受けている。

今後地域の方と情報共有を図りながら、今できる取組を行うとともに、問題を根本的に解決するルール等の導入について、他地域の事例も参考にしながら調査研究する。

『その他の質問』 二項目



あさだよしひろ
浅田良弘議員
(会派に所属していない)

終活への支援について本市の取組を伺う

高齢化に伴う課題の一つと考える身寄りのない高齢者への支援に関して、生前に身辺整理などを行う終活への支援について、本市の取組を伺う。

市長

終活講座などを開催し終活の普及啓発に努めている

終活に向けた支援として、高齢者など市民の方を対象に、平成三〇年度から毎年、地域包括支援センターが主体となって終活講座を開催しており、令和五年度には市内六会場で開催し、一五五人の方に参加いただいているほか、地域の居場所や老人会などに直接出向き、終活についての講話や相談なども行っている。

また、終活講座などの際には、終活において考えておくべきことや、必要なことをまとめておくためのエディングノートも配布するなど、人生の最期に向けて、ご自身の思いを整理し、亡くなられた際の対応を明確にしておくことで、遺された家族や周囲の方にお気持を託し、負担を減らすことができるよう、終活の普及啓発に努めている。

『その他の質問』 五項目

常任委員会だより

常任委員会審査の中から、一部を抜粋し

ホームページにおいて、各委員会
要点記録を公開しております。



各委員会要点記録
はこちら

総務委員会

問 入湯税の税率引き上げの目的について伺う。

答 本市総合計画の政策目標「活力にあふれ交流でにぎわうまち」の実現に向け、温泉資源の保護・活用及びさらなる観光振興に取り組み財源とするため税率を引き上げるもので、これにより約三億円の税収増を見込み、このうち半分を温泉資源の保護・活用に、残りを観光施策のための財源とすることを検討している。



入湯税は温泉と観光振興に活用される

観光建設委員会

問 湯川地内広場整備工事の内容を伺う。

答 三島信用金庫伊東駅支店跡地に、買物客や観光客等が気軽に休憩できる空間を整備するため、サークルベンチを設置するものであり、夏の暑さには簡易的な手段にはなるが、対策を検討している。また、キッチンカーなどを使った飲食を伴うイベントでも利用してもらいたいと考えており、利用相談があれば対応していく。



整備が予定されている
三島信用金庫伊東駅支店跡地

福祉文教委員会

問 産後ケア事業におけるホテル型デイサービス事業の評価及び今後の展望を伺う。

答 令和五年度からホテル型デイサービス事業を実施したが、利用者は当初の見込みを大きく上回るなど好評であったと考えており、また、他自治体や報道機関から問合せがあるなど、特色ある取組と考えている。
今後魅力ある事業として継続して実施する中で、産後ケアの充実に資していきたい。



ホテル型デイサービスの様子

市議会内の会派構成

(令和六年二月一日現在)

正風クラブ

村上 祥平 議員

鈴木 絢子 議員

◎佐藤 周 議員

宮崎 雅薫 議員

自由民主 伊東

虫明 弘雄 議員

河島紀美恵 議員

中島 弘道 議員

◎井戸 清司 議員

公明党

◎長沢 正 議員

竹本 力哉 議員

篠原 峰子 議員

伊東未来

青木 敬博 議員

◎大川 勝弘 議員

杉本 一彦 議員

政和会

◎四宮 和彦 議員

杉本 憲也 議員

会派に所属していない

犬飼このり 議員

田久保真紀 議員

重岡 秀子 議員

浅田 良弘 議員

(◎) 会派代表者、
会派構成議員は議席順)

閉会中の議会活動

令和6年6月定例会閉会から
令和6年9月定例会開会まで



7月11日・12日 諏訪・伊東姉妹都市議会
議員交歓研修会
7月16日 議会改革特別委員会
7月24日 常任福祉文教委員会協議会
7月30日 常任観光建設委員会協議会
7月31日 議会報編集委員会
8月 6日 議会改革特別委員会
8月22日 議会運営委員会

12月定例会の予定

11月29日(金)開会

※日程等は、11月下旬の議会運営委員会において正式に決定
します。

議場見学



8月5日に
放課後等デイサービス伊豆高原BASEの
子供たちが議場見学をしました

議会改革特別委員会

中間報告



本委員会
ホームページ
はこちら

1 令和六年七月一六日 委員会開催

まず、予算・決算の審議・審査方法の見直しに
関し、予算・決算特別委員
会の設置に伴う検討事項の
協議を行いました。特別委
員会の設置期間や分科会での
採決の有無など、前回の委
員会において未決定であつ
た検討事項について協議を
行い、大方の事項は決定し
たものの、正副委員長を選
任案については意見がまと
まらなかったことから、次
回の委員会において改めて
協議を行うとしました。

次に、今後の協議事項に
ついて協議がされ、以前に
意見聴取した事項のうち、
最優先として取り組みたい
事項等の選定をお願いし、
次回、改めて協議してい
くこととしました。

このほか、本委員会での
協議により改革が図られた
事項の検証等を行いました。

2 令和六年八月六日 委員会開催

まず、前回からの協議継
続事項である、予算・決算
特別委員会の正副委員長の
選任案について協議を行
いました。本案は、休憩中
にも議論が行われるなど協
議を重ねたものの一案とし
ての決定までには至らな
かつたことから、委員長として
二案を結論として議会に報
告する旨を提案し、異議な
く了承されました。

3 令和六年八月二八日 中間報告

次に、今後の協議事項に
ついては、各会派等に選定
いただいた優先順位等を踏
まえ、「議会運営の見直
し」及び「議会のICT
化」について協議してい
くことを決定しました。

令和六年九月定例会初日
において、本特別委員会
の中間報告を行い、異議な
く了承されました。

編集後記

佛現寺は、日蓮聖人が地
頭伊東祐光を治癒した縁で
与えられた毘沙門堂跡地に
建てられた霊跡です。古く
は惣堂とも呼ばれ、江戸時
代まで近隣の日蓮宗八箇寺
が輪番で守護し、その中腹
辺りに平和鐘があります。
忌むべき戦争を共にした
梵鐘を、犠牲者菩提の為に
新鑄し、平和の鐘と名付け
て善き教訓とすることが銘
文として刻まれています。
しかしながら、世界では
紛争が絶えません。朝暮に
響く鐘の音に醒め、平和を
祈り続けたいと思います。
(河島紀美恵)

議会報編集委員会

委員長	杉本 憲也
副委員長	大川 勝弘
委員	村上 祥平
〃	河島紀美恵
〃	竹本 力哉

市議会に関するご意見
ご質問は議会事務局へ